

茨城県 筑西市 五大まつり

令和7年2月10日

関東支部長 馬場 泰 則

筑西市は平成17年1月1日市3町合併（下館市・関城町・明野町・協和町）してから20年経過、市内には「筑西市合併20周年」の幟があちらこちらの立っています。筑西市は、万葉集にも詠まれている筑波山の西側に位置し、風光明媚で豊かな自然環境に抱かれた茨城県西部の都市です。

その筑西市の五大まつりを紹介します

【1】7月最後の週の木曜日から4日間「下館祇園まつり」が開催されます。

羽黒神社を中心に4日間にわたって行われ県内屈指の夏祭り、120年以上の歴史を持つ明治神輿、毎年担ぎ出される神輿としては日本最大級の重量を誇る「平成神輿」などの渡御が行われます。開催場所の中心は市役所前です

【2】8月下旬～9月上旬 「あけのひまわりフェスティバル」中心迄花びらになっている八重ヒマワリが特徴、約100万本が咲き誇る絶景に、毎年県外からも多くの観光客が訪れます。開催地区は明野宮山地区です。

【3】8月下旬～9月上旬 「どすこいペア」「どすこい」は相撲の掛け声「ペア（PEAR）は英語でナシの意味。特産品であるナシの収穫を祝って行われた「梨相撲」にちなんだまつりです。現役の力士が登場するほか、名物のオリジナル筑西梨カレーを食べることが出来るのです。場所は関城支所近辺です

【4】「ちくせい花火大会」人々に夢や希望を与えるべく、筑西の夜空に2万発を超える大輪の花火を打ち上げ、尺玉を含むワイドスターメインや筑西市ならではの趣向を凝らした花火も打ち上げます。圧巻です。

【5】12月第一日曜日「小栗判官まつり」平成元年（1989）に始まり協和地区に伝わる小栗判官伝説を再現するまつりです。会場では県無形民俗文化財指定「小栗内外大神宮太々神楽」の伝統芸能の披露のほか、飲食や農産物直売のテントが出店します。開催場所は協和新治小学校から新治駅前通りです。

私は毎年五大まつりには、出来るだけ見学に行くようにしています。 以上

